

あなたも東北へ。

第2回東日本大震災復興支援チェロアンサンブルコンサート

2012年7月28日(土)～29日(日)

☆盛岡を拠点に釜石、大船渡、大槌方面を考えています。

第3回東日本大震災復興支援チェロアンサンブルコンサート

2012年8月18日(土)～19日(日)

☆仙台を拠点に、石巻、女川、気仙沼方面を考えています。

*コースについては変更の可能性もあります。

以下について、各回とも同じ要件になります。

○参加費：第2回 35,000円、第3回 40,000円

*東京集合⇒マイクロバス(プロのドライバーが運転)にて移動します。

参加費には、マイクロバス代、昼食代、宿泊(朝食付)代が含まれます。

保険代は自己負担をお願いします。

*現地に直接いらっしゃる方は、20,000円です。

*東京まで(もしくは現地まで)の交通費、夕食代は自己負担です。

○募集人数：各回 16名

*希望パート人数により調整させていただくことがあります。

○曲目：セレナーデ、レクイエム、北国の春ほか

*譜面のご用意はパートが決まり次第に送付。5月中旬になります。

申し込み：事務局にメール(ices_jimukyoku@yahoo.co.jp)またはfax(045-902-6830)で、下記の項目を記入し、お申し込みください。

記入事項：お名前、〒、ご住所、メールアドレス、電話番号(携帯可)、どちらの日程に参加したいか、過去の演奏パートと現在弾けるパート(過去に4パートだったが今は3パートなら大丈夫など)をお知らせください。

募集〆切：5月10日(木)

*定員になりましたら、早めに締め切らせていただくこともあります。

*お申し込みされた方には、総会で話が出たエイズサイクルの具体的なやり方を含め、5月中旬に詳細のお知らせをお届けします。

お問い合わせ：事務局 tel.090-6302-1707

事務局からのお願い

事務局携帯 : tel.090-6302-1707

事務局アドレス : ices_jimukyoku@yahoo.co.jp

1. NPO 収入増加へのご協力をお願い

総会議事録にもありますが、今後下記に力を入れていきたいと思っております。皆様のお力をお貸しいただきたく願います。

① 会員増加

一番の収入源は会費になります。一人でも会員を増やして安定した運営を目指しますので、周りの方に再度お声をかけてみてください。

② CD 書籍販売

演奏会などの際に、NPOのCD・書籍を並べて販売してください。「第1回1000人のチェロ」のCDが60枚、「第3回1000人のチェロ」のCDが150枚以上残っています。1枚1,500円。また、トーマス・ミフネさんの書籍「より自然なチェロ奏法」(音楽之友社定価2,500円)をキャンペーン中につき会員価格1,500円で!販売。ぜひご購入いただきたく願います。

③ エイズサイクル参加のお願い

「東北復興支援コンサート」にあたり、参加者にかかる経費をインターネット上で寄付として募り、参加者は課題達成に向けて挑戦をするエイズサイクル方式の導入を考えております。NPOとしても初めての試みになりますが、皆様もぜひとも参加してみませんか?

2. 事務局お手伝いをお願い

事務局をお手伝いいただける方を募集しています。特に譜面については、「東北復興支援コンサート」で使用する譜面準備、「第5回1000人のチェロ・コンサート」に向けての譜面整備を進めたいと思っております。譜面のパソコン入力可能な方は、事務局にご一報いただきたく願います。



申込書
NPO 国際チェロアンサンブル協会 (ICES)
入会申込書
ふりがな
お名前 (姓・名)
ご住所
〒
電話番号
FAX
E-mail
生年月日 年 月 日
ふりがな以下の欄は任意で記入してください。
1. 当協会を通じては知りませんが
2. 会員 () 3. 友人 () 4. 家族 () 5. 楽友 () 6. その他 ()
7. 2. 貴方はチェロを弾けますか? 弾かれる場合はチェロを弾くお楽しみください。
8. 3. アンサンブルの経験はありますか? それほどのような経験ですか?
9. 当協会の会員の相互交流を促進するため、会費に際し会員名簿をお見せさせていただきます。
10. 公開可能な項目を選択してください。(住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)

入会勧誘チラシができてきました。事務局にご連絡をいただければ、PDFデータをメール添付でお送りします。会員増加のために活用してください。

3. 会費納入のお願い

→ 3月末までにお願いします

会員資格の期間は、毎年4月～翌年3月までとなっております。ただし、総会にてご説明させていただきましたとおり、今期は、納入日によっては数カ月しか経っていないという方もいらっしゃいますが、この間には、東北アンサンブルのご案内、会報誌発送など昨年4月に会費納入いただいた方と同様のサービスをさせていただきましたので、ご理解いただきたくお願いいたします。

2012年度からは、3月末までに会費を納入いただき4月～翌年3月までを会員期限とします。もし3月末までに納入できず、ずれ込んでしまった場合は、お支払い日より翌3月までの会員資格となります。

なお、期限内に納付いただけない場合は、翌年度に再入会費をお支払いいただく場合もございますので、ご注意ください。

お振込先：ゆうちょ銀行 00960-3-57627

*ゆうちょ銀行に、口座をお持ちの方は、ゆうちょ銀行のATMから振込しますと手数料が無料になることもあります。ただしATMからのお振込の際は、必ず会員様ご本人の名義でお願いいたします。他の方の名義やコメントを入れても、こちらで確認できないことがありますので、ご注意ください。万一ご家族名義からのお振込みの場合はその旨、事務局までご連絡ください。

*その他の金融機関からお振込いただく場合、ゆうちょ銀行 〇九九支店 当座 0057627

にお振込ください。

*なお、領収証は発行しませんので、お振込の際の控えを保管してください。

CELLISSIMO

第12回定時総会報告

NPO国際チェロアンサンブル協会の定時総会が、

2012年2月4日13時30分～15時30分まで、アルカディア市ケ谷（私学大館）で行なわれました。

A 報告事項

1 東北アンサンブルについて
高橋さんより挨拶あり。詳細は前回
会報誌での報告のとおり。

2 今後の事務局体制について

①事務局業務

田原理事と担当の藤代さんで行なう。藤代さんは一会員であり、多くのボランティアでお手伝いいただく。ぜひとも皆様もお手伝いいただける方をお願いしたい。



東北復興支援コンサートへの参加をどうやって促していくか、さまざまな意見交換をしながら、一つの方向にまとめていきました

②年間スケジュール

会報誌、会費納入は毎年同じような日程でいきたい。会員の皆様にもご理解いただきたい。

・総会開催 2月

・3月会報誌発行（総会報告）＋

会費納入（2012年度分）の

お願い発送

・12月会報誌（今年度の事業報告）

発行と総会案内（2013年度）

発送

③会員資格

会計上の年度は1月～12月、会員資格の期間は毎年4月～翌年3月までとする。早期の会費納入にご協力をいただきたい。

B 審議承認事項

第1号議案 理事会体制について

①松本理事長は退任し、今後は顧問として運営に関わってもらう。

②白沢女史が新理事長に就任する。

③高橋氏、畑井氏が理事に選任され承認された。

④今期の理事会は下記の体制となる。

松本顧問

白沢理事長

寺田副理事長

高橋理事

畑井理事

田原理事（事務局長兼任）

第2号議案 2011年度事業報告と決算承認

別紙の内容で承認された。

第3号議案 2012年度事業案と予算案承認

・別紙の通り提案された。松本氏への返済について、1500万円に対し6万円の返済はあまりに少ないとの意見が大勢を占めたが、収入源が会費のみである現状では、この予算しか組めない旨説明し、承認された。

・収入を増やす方策は別途討議（後記）された。

・なお、東北関連については、本会計と切り離し、予算を組むことであわせて承認された。

C 討議事項

①東北復興支援アンサンブルと東北1000チェロ・コンサートについて

・キャラバンの形で5～7回実施

・1回につき16名くらいの参加

・1泊2日

・前回の反省を踏まえ、あまり広範囲を回らず、5回で東北全体を回るよう組みたい

問題点

①パート割と人数

参加者によっては、パートが偏る場合があり、それをどのように調整するかが難しい。

②譜面準備

経費節減のため、譜面は貸譜とした。貸譜について賛同を得た。さらに練習用の譜面送付は郵送料がかかるので、HP上のPDFデータを各自でパソコンでダウンロードする方法がよいの意見あり。今後はその方向で考えたい。

③参加費

東北アンサンブルを行なうにあたり、本会計とは切り離して収支をとるためには、今までも高めの参加費設定となる。個人的に支払えない場合は、エイズサイクル方式という新たな手法を取り入れたい。

エイズサイクル方式とは、パソコン上に自分のHPを作成し、目標や思いを書き込み寄付を募るといったもの。これに対し、下記のような活発な意見が取り交わされた。

・本来の手弁当で参加したという原点は、ぶれないでほしい

・自分のお金で行きたい人もいるので、足並みを揃える必要はない

・エイズサイクル方式は個人的だけでなく、NPOの収入にも繋がるのでぜひやってみよう

↓5ページ下段に続く。



Vol. 18

新しい気持ち、新しい動き。

「格別の思い」 白沢史子 理事長 (新任)

皆さん、こんにちは。

このたび理事長になりました大分の白沢史子です。前理事長の松本さんの足元にも及びませんが元氣パワーで一生懸命努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

私が1000チェロを知ったのは入院中の時でした。回復が悪く、おちこんでいました。そんな時、奈良のチェロ仲間から「阪神淡路復興支援のための1000人のチェロコンサートがあるよ。寝込んでなんてなんかいられないよ。」という知らせ。すぐに参加内容のFaxが何十枚も届きました。

「すごい！すごい！！ 1000人のチェロ！？」もちろん、即申込みました。それから北海道有珠山復興支援・新潟中越復興支援には大分でもチャリティーコンサートを、行ない、寄金を届けました。

チェロを通じて全国にたくさんの「仲間」ができたこと、そしてその「仲間」と国際平和、震災などの復興支援活動ができることは、私に

新しい体制で、NPOが動きます。これまでに以上大きなムーブメントとなつて活性化します。それぞれの「決意」を寄せていただきました。

は格別の思いです。

昨年の東日本大震災復興のために、どうぞ皆さん、1000人チェロのパワーを届けて、少しでも被災された方々の心を癒やし、勇気づけになるよう、がんばりましょう。

また、この会はチェロを演奏できる方だけでなく、「チェロは弾けないけど会員になつて一緒に活動したい」という方々もぜひ入会していただけたらと思います。お声かけもよろしくお願いします。

最後に……本当に頼りないかと思えます。副理事長の寺田先生、事務局長の田原さん、理事の方々、そして会員の皆さんどうぞお力添えよろしくお願いします。



総会風景その2です。左から白沢史子理事長、松本巧顧問、田原光子事務局長。審議事項について熱心に意見交換をしながら、新しい体制での事業計画を検討しました

「ともに喜びと希望を分かち合いたい」 寺田義彦 副理事長 (留任)

NPO国際チェロアンサンブル協会の皆様、理事の寺田義彦です。私は約20年前からスズキ・メソッド(社団法人才能教育研究会)のチェロ・インストラクターとして、高円宮憲仁親王殿下とお嬢様の女王殿下の方のチェロご指導に携わり、殿下のご紹介から、創始者の松本巧前理事長と会って、1998年「第1回1000人のチェロ・コンサート神戸公演」開催に参画いたしました。

以降「1000人チェロ」開催のために、得がたい経験と感動を得まして、今日に至っております。それらはこの紙面では尽きぬほどの量ですが、今回はご挨拶代わりに2006年10月7日と8日に敢行しました「中越地震復興支援チャリティーコンサート」のエピソードをご披露します。

最後の会場、川口町「田麦山小学校」に全国から集まった約100名のチェリストが到着したのは8日の昼過ぎでした。同校庭には被災された方々の仮設住宅が並び、コンサート会場の体育館に敷かれたゴザにはもう

数名の地元の方々が座つていらつしやいました。奏者の使う折りたたみ椅子も整然と準備されていました。あいにくと前日も当日も天候には恵まれません、時折雨風の天井を打つ外の音が会場内に聞こえることもありました。

しかし、この最後の「田麦山小学校」コンサートでは何とも偶然なことが起きました。開演直前に雨が止み、演目冒頭の「ゴルターマン作曲「レリジオン」」を奏すると雲の間から太陽が顔を出し始めたのです。体育館上部の大きな明かり取り窓から陽が柔らかに差し込み、観客と演奏者たちも音楽に合わせて、すべてが光に満たされるかのような感慨深いコンサートとなりました。

このような想い出から、NPO国際チェロアンサンブル協会の皆様とともに、東日本大震災復興支援チェロアンサンブルコンサート開催を進め、チェロの音で観客と演奏者がともに喜びと希望を分かち合えるようにと願っております。



総会後恒例のアンサンブルも楽しみました。右が高橋理事、左はこの日に入会したばかりの櫻井千尋さん

「絆を深めたい」田原光子 事務局長 (新任)



恒例の呑み会。理事に新しいメンバーも加わり、今後はさらにヒートアップしそうな雰囲気です

このたび、理事兼事務局長をさせていただきます田原光子です。私は、「第1回1000人のチェロ・コンサート」に参加し、その素晴らしい感動して、直後にできたこのICESに入会しました。その後、2006年より理事として、いろいろお手伝いをさせていただいておりましたが、今期、松本さんが理事長を退任されるにあたり、白沢新理事長のもと、事務面を一手に担当すべく理事兼事務局長をさせていただくことになりました。

【自分たちがチェロを楽しむこと】はどこでもできますが、【チェロで少しでも誰かの役に立てる活動】となるとなかなか難しく、その意味で、ICESはそういう機会を与えてくれる素晴らしい会であると思っています。

これからは、もっと多くの人に私たちの活動とその精神を広めていけたらと思います。また、もっともっとと会員同士の【絆】を深め、全国的

な組織を生かした体制を作るべく力を尽くしてまいりたいと思います。

ところで、総会でも少しだけお話しさせていただきますましたが、事務局という何人も人がいて、立派なお部屋があるようなイメージですが、実は、事務局長の私と担当の藤代さんだけの小さな小さな事務局です。

皆様に発送しているこの会報誌も、藤代さんが奥様とご自宅のリビングで手作業で発送作業をしてくださったものです。

私も、職場で上司の目を盗んでコピーしたり、家では狭い部屋をICESの資料で占領し、夫に冷たい目で見られながら夜中にコソコソ作業しています。

もちろんお引き受けした以上は、少しでも皆様のお役に立てるよう努力しますが、たくさん作業に埋もれ、なかなか要望に添えないこともあるかと思えます。

どうか温かい目で見守っていただき、ご理解いただきたく願っています。

また、別にお知らせのとおり、お手伝いいただける方を募集中です。皆様のご協力をお願いします。会員の皆様のお力をお借りして、まずは滞りなく1年間運営していけたらと思います。

最後になりましたが、松本さん、長い間大役をお疲れさまでした。松本さんに教えていただいた【いつも会員の皆様の立場にたつて考える】という気持ちを忘れず、より良い事務局を作ってまいりたいと思いますので、今後ともご指導お引き立てのほどよろしくお願いいたします。

「被災地支援、1000人のチェロ、そして日常活動の充実を」高橋明 理事 (新任)

このたび、歴史と伝統ある国際チェロアンサンブル協会の理事にさせていただきました。自己紹介と理事としての決意表明をさせていただきます。

1952年、埼玉県生まれで音楽は小学校ウイオリン(15年)、鼓笛隊(56年)、中高吹奏楽(ユフオニウム)、大学古典ギター(独学)で以後長いブランクの後、2009年11月からチェロ開始。10年5月の第4回1000人のチェロ・コンサートに無謀にも出演(参加規定には3年「程度」のチェロ歴とあるも申込み時数で数ヶ月。右も左もわからない状態で、経験した1000人のアンサンブルは異次元の体験。ゲリンガス氏の希有な「鳥の歌」に感激しました。

そして311に出逢いました。千年に一度の大震災で、世界観が変わりました。沿岸の被災地の惨状をじかに見て、音楽による支援を考えるに至りました。同じ時期に仙台フィルのメンバーが街に出て、140回ものボランティアアンサンブルを行ない、市民に多大な励ましと勇気を与え、かつ聴衆からエネルギーを受け取るさまをつぶさに体験。「音楽の力」を確信。11年の夏休み前から学生、大学院生、ボランティア演奏家などの協力を得て、被災地支援コンサートを継続していきます。チェロの技倆を上げる喜びと演奏する喜び、アンサンブル

ルの喜びをチェロ学習の早期に経験したことに感謝しています。

国際チェロアンサンブル協会の公式イベントとして、11年11月に仙台、陸前高田、気仙沼でアンサンブルコンサートに取り組みました。初めてお会いしたアマチュア・プロのチェリストが、たった1回のリハーサルで旧知の間柄の如く、仮設住宅の集会所で演奏できたことに改めて感動。強行軍で、遠方からの参加者にはご負担をおかけしましたが、充実した演奏イベントとなったと思います。来たるべき「第5回1000人のチェロ・コンサート」を成功させ、さらに協会を盤石の体制とすべく微力を尽くしたいと考えています。

理事会では、本年度は数回の被災地支援コンサートを行なうことを計画しています。協会としては、日常活動を強化することが急務の課題と考えます。財政的な基盤を強化することはもちろんのこと、「1000人のチェロ・コンサート」だけでなく、日常の活動を強化することが鍵だと思います。そのためには各地域での日常的なチェロアンサンブルの活動を活発にすること、そのために協会としてできる限りの支援、教育を行なうことが大切です。お金はないが、エネルギーとやる気、時間を使える限り投入する心構えです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「全身全霊でプロデュース」畑井貴品 理事(新任)

第一回から裏方、黒衣として関わってきまして、このたび理事に就任することになりました。松本理事長が退任される折、白沢新理事長と新理事会を盛り上げていかねばならないと気を引き締めています。

私はマーケティングからコンテンツまでの業界でプロデュースを生業とするもので、プロデューサーとは社交ダンスの男役のようなものであると叩き込まれています。理事になったとしてもそれは変わらぬ役どころです。心置きなくチェロを弾いてもらえよう、みなさんのチェロが被災して傷ついた人々にちゃんと届くよう、十全なお膳立てをすることが私の役目です。プリマドンナはみなさんなのです。

どんなに急造でも音楽になっていることがみなさんの役割であるように、私もこのプロデュースには全身全霊、持てる矜持をすべてかけてやっています。ボランティア活動だからといってまったく手を抜くつもりはありません。

昨年に引き続き、今年と来年にかけて行なう予定の東北キャラバンは、数百キロを移動するもので冒険要素も伴います。心して取りかかればなりません。我々がその地に向かうことは大きな意義があります。意義というより単刀直入に言えば、愛ですね。「気にかけております」という愛です。それを被災者の方の胸に直接手渡してできる。演奏を終えようと聴いておられた方々の顔がほころんで、口々にお礼が出る。我々もお礼をする。お礼にはお礼をもって返す。この世で一番美しい交換です。

一人でも多くのチェリストにこの交歓を味わってもらいたいし、またチェロを弾けなくても一人でも多くの人に携わってもらいたい。

私はそう心から信じ、願い、理事としてプロデューサーとして、自分の役割を全うしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

「皆様の窓口」藤代庄司 事務局(新任)

2011年秋から、事務局を仰せ付かった、藤代と申します。

コンサートで、観た、チェロの移弦の格好良さに痺れて、楽器を衝動買いしてしまった慌てもののレイトスターターです。以来、妙な音を掻き鳴らしては周囲を困らせていましたが、演奏で貢献できない分、何か貢献できることはないか、と事務局を担当させていただくことになりました。仕事の内容も分からず、右往左往の毎日ですが、基本的には『自分の仕事は、会員の皆様方の窓口役』と心得ております。会員の皆様、どうぞ、よろしく、お引き回しください。

私のICESとの出会いは、神戸での「第3回の1000人チェロ」。刺激と感動に満ちた、夢のよ

うなチェロ漬けの1週間でした。このような団体からお声を掛けていただけたことが、とても嬉しくて、自分の非力を忘れて、お引き受けしてしまいました。精一杯努めさせていただく覚悟ですが、能力以上のことは、気持ちだけではこなせません。どうぞ皆様、お力添えも、お願いいたします。

チェロ以外の趣味はあり過ぎて困るのですが、遊びの名刺には、山登りとスキー、カメラ好きの、ヘボチェロ弾き、と記載してあります。以上、簡単ですが自己紹介とご挨拶まで。

松本さん、お疲れさまでした。



松本巧さんのご活躍は皆さんご存知の通りです。心身ともに「1000人のチェロ・コンサート」に進進された15年間でした。次世代にバトンはタッチされていきますが、関西商人の底力で、NPOを見守っていただければと思います。



こちらは趣味のボードセーリングを楽しむ松本さんです。サラサーテ誌が創刊2号(2004年2月発行)で松本さんに密着。「チェロと串揚げ〜心棒を志にする男」として5ページにわたって紹介されました



「第4回1000人チェロ・コンサート」後、喜びをわかちあうゲリンガス氏と松本さん

「理事長退任の挨拶」 松本 巧 顧問 (新任)

全国のチェリストたちによる1998年11月29日の第1回「1000人のチェロ・コンサート」は、当時御存命でいらした高田宮憲仁親王殿下はじめ、参加者の全員が感動と震えを覚えた素晴らしいものでした。

先日、久々にその時のライブCDを聴きました。何十回と演奏してきたフランクの「組曲」、三枝氏の「レクイエム」、どれをとっても今聴いても涙が出てくるほどの感動の演奏ばかりです。その感動が原動力となって、私たちのNPOは2001年に組織されました。

以来、有珠山復興支援、第2回「1000人のチェロ」、宮様追悼、2005年5月にロストロポーヴィチ氏、シュタルケル氏、グリーンハウス氏の三大巨匠に参集していただいたのインターナショナル・チェロ・コンGRESと第3回「1000人のチェロ」、中越地震の復興支援、広島での第4回「1000人のチェロ」、そして昨秋の東北での第1回東日本大震災復興支援と数々の社会的支援の演奏を行ってきました。僕自身が、それらすべてをNPOの理事長および事務局長としてのオーガナイズ・運営をさせていただいてまいりました。

1997年以来、15年間にわたり、それらに費やされた時間と労力は膨大なものでした。僕がそれを専任でできる時間的・経済的立場であれば良いのですが、この15年間は完全に行動の軸足をチェロ&NPOにあつて会社事業をまったく脇に押しやっています。

還暦を2年前に超え、創業社長として33年間株式会社串乃家の経営のかじ取りもしてまいりましたが、軸足がチェロに移つてからは、社員の方々に申し訳ない業績の連続でもありません。

自分自身の年齢を顧みて、事業継承も最後の段階にあり、このままNPOに軸足を置いたままでは、それらがままならないことを痛感した

しました。

幸い、副理事長だった白沢さんが理事長就任を快諾してくださり、昨年田原理事が首都圏事務局として会員の皆様のお世話もしてくださり、事務局長にも就任くださいました。その補助作業に藤代さんという素晴らしい事務参謀もお迎えできました。

さらに、2月の総会・理事会を経て、新任の畑井さん(首都圏)、高橋さん(仙台)という素晴らしい新任理事もお迎えできました。安心してこれらの方々にNPOをバトンタッチしていただける確信を持ちました。

会員の皆様におかれましては、執行部の方々に任せてしまうのではなく、「チェロを通じて何かの社会的活動」、「被災地の方々への少しでも勇気づけ」……いろいろな活動に積極的にご参画いただけますよう、また、いろいろなご意見やご提案などいただけますよう、心からお願い申し上げます。

そして、会員お一人、お一人が周りのまだ会員になつていないチェリスト、あるいはチェロを好きな非チェリストの方々とどんどん会員にご勧誘ください。

僕はもう理事ではありませんが、顧問として引き続きNPOの活動には積極的に参加もし、会員増強にも協力してまいります。

次なる東北復興支援や「1000人のチェロ・コンサート」で皆様にお目にかかれることを心から楽しみにしています。

10数年の長きにわたりいろいろと会員の皆様にはご協力くださりありがとうございました。皆様のご健勝・ご活躍とNPO国際チェロアンサンブル協会のますますの発展を、心からお祈り申し上げます。

2012年2月20日

松本 巧

続・第12回定時総会報告

1面からの続きです。

②1000人のチェロ・コンサートについて

2015年1月に阪神淡路大震災20年を迎えるため、ぜひとも神戸でやりたいという提案あり。一方、東北では必ずやりたいという意見も多いことから、同時開催とした。

神戸・東北同時開催のメリット

①複数年にまたがるより分奏・公式練習がやりやすく、譜面や案内などの事務経費も少なくてすむ。

②全国を巻き込んだ大規模なイベントとしてマスコミにもアピールできる。

同時開催のデメリット

一度に支出がかかる(音源を2カ所に設置するなど) 審議の結果、ほぼ賛同を得たので、同時開催の方向で検討する。

今後中継などについては具体的に考えていきたい。なお、日程は、第1回のコンサートが1998年11月29日に開催されたため、2014年11月23日、または11月30日あたりを予定。

③高田宮様10年祭追悼コンサートについて

今年高田宮様の10年祭とな

るので1000人規模のコンサートをしたい。日程は亡くなられた11月21日以前の11月で調整する。場所は池上会館あたり。カナダ大使館も意見があがったので、いろいろあたってみたい。

④会員増加キャンペーン

まずは会員になってくれた方が退会しないことを考える。(「僕はここに骨をうずめる覚悟です」という頼もしいご意見もありました)

各地での例会を活性化したらどうか。

・会員1人が1人誘えばよいのではないか。

・チェロを弾かない人も会員になれるので誘ってみよう。

⑤その他

収入を増やすことが急務で、会員増加とともに、NPOの資産であるCD・書籍を売却していきたい。ご自分のコンサートなどで販売できそうな方は、ぜひ事務局にご一報を。

また、ご自身でも購入いただける方もご協力お願いします。



information board

掲 示 板

♪必見！お勧めチェロ・アンサンブル動画公開サイトより♪ 第1回

チェロ・アンサンブルを愛好する者にとって、昨今のインターネット普及の恩恵は大きいです。プロ、アマを問わずいろいろな方が興味深い演奏を動画で投稿公開しております。その中で筆者が皆様にお勧めの演奏を本欄でご紹介します。URLを記しますが、動画サイトYouTubeにタイトルを入れて検索すると早く見つかります。なお入稿時点では公開されていた動画が突然消去されていることもありますので、どうかご容赦ください。

寺田義彦

実演編

① quattrocelli LIVE in New York | Mission Impossible

http://www.youtube.com/watch?v=veGy_pvlacg&feature=related

投稿者：quattrocelli 2008/09/05

2008年ドイツ人チェロ四重奏団によるNew YorkのTrinity Churchで行なわれたライブ最初の演目、映画「ミッション・インポッシブル」です。演奏しながらあえてドイツ語訛り英語でメンバーを紹介する実に楽しいコンサートです。他の演目”The Godfather love theme” ”Bach Air” ”Gershwin Portrait”などが公開されています。

② Jorge Ben: Mas que nada for cello ensemble

<http://www.youtube.com/watch?v=3Ae0HdeHq7U>

投稿者：CroCellomania 2009/08/28

その名が示すように、クロアチアのチェロ・アンサンブル“CELLOMANIA CROATA”の2000年ドゥブロヴニク夏の音楽祭にて、お城のような会場でのライブ演奏。高度な演奏技術と曲もさることながら、アンサンブルを心から楽しんでいる雰囲気伝わります。

③ Kaiser-Lindemann Die 12 in Bossa-Nova.

<http://www.youtube.com/watch?v=izQr129Zjr8&feature=related>

投稿者：PerspectivesEnsemble 2011/07/27

知る人ぞ知るチェロ・アンサンブルの名曲 Wilhelm Kaiser-Lindemann 作曲 Die 12 in Bossa-Nova のライブ演奏。この曲の発表はベルリン・フィルのチェリストたちよりもケルンのチェリストたちの方が早かったと思えます。

④ National Cello Institute 2009 Viva La Vida ensemble

<http://www.youtube.com/watch?v=bUE60o8zc20&feature=related>

投稿者：baronqsolotar 2009/06/26

米国 Los Angeles 近郊の Pomona college で毎年6月末に開催されるチェロ・キャンプの成果発表で演奏された Coldplay のヒット曲。オリジナルが弦楽器サウンドを多用しているため、クラシック演奏者が好んで編曲します。舞台上でチェロの背面を叩いているチェリストが10代のチェリストを指導されていました。私事ですが、筆者はこの時、初めて同キャンプに赴きました。期間中にマイケル・ジャクソンが亡くなり、彼の追悼バッジを着けた生徒たちの明るく楽しそうな演奏が印象的でした。

⑤ National Cello Institute '10 : orchestra rehearsal

<http://www.youtube.com/watch?v=0856LBXyOAc>

投稿者：piyokolovesmusic 2010/08/10

④のチェロ・キャンプ、2010年のリハーサルからです。筆者は、第1曲の”Primeros Pasos by Michael S. O'Brien”楽譜を入手したので、ぜひ一度NPOでの演奏を願っております。曲名のスペイン語の意味は「第一歩」です。さあ踏み出しましょう！

2012 年収支計算書

平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日まで

収入	予算	摘要
入会金	15,000	3,000 円 × 5 名
年会費	600,000	3,000 円 × 200 名
DVD 収入	0	
寄付金収入	0	
受取利息	0	
本会計合計	615,000	
書籍会計	0	右の書籍シート参照
東北収入	360,000	右の東北関連シート参照
NPO 総会計	975,000	

支出	予算	摘要
旅費交通費	130,000	理事会交通費
会報費	240,000	120,000 円 × 2 回
会議費	30,000	総会会場費
郵送費	130,000	前期立替分 25,000 円 + 来期発送予定 35,000 円 × 3 回
電話代	10,000	
予備費	15,000	
支払手数料	0	
本会計合計	555,000	
東北支出	360,000	右の東北関連シート参照
特別支出	60,000	松本氏へ返済 (会員 1 名につき 300 円)
NPO 総会計	975,000	
差引余剰金	0	

東北関連

収入	予算	摘要
参加費	360,000	30,000 円 × 12 名
寄付収入	0	
合計	360,000	

支出	予算	摘要
マイクロバス	200,000	マイクロバス 1 台 150,000 円 × 2 台
郵送費	45,000	全員発送 1 回 35,000 円、参加者への発送 10,000 円
備品	10,000	
予備費	105,000	
合計	360,000	
事業損益	0	

書籍

収入	予算	摘要
売り上げ	0	
合計	0	

Voice

会員の声

総会開催のお知らせをしたところ、会員の皆様からの近況報告がたくさん寄せられました。いくつかご紹介します。

伊勢 英子●15人の東北支援チェロ・コンサート、実現できてよかったですね。松本さんたちの「1000チェロ」の精神の初心を改めて感じました。私事ですが、2人の孫が次々と誕生し、いのちの重さに圧倒された1年でもありました。3.11以降、木の実、タネで人間の赤ちゃんに描いて「木のあかちゃんズ」(平凡社)を緊急出版してもらい、福島の子ども、妊婦さんたち、700余名に手渡してきました。

林 久雄●チェロは独学。広島大会を期に入会。2年後に退職したら本格的に学びたいと思います。東北で「1000人のチェロ・コンサート」があれば、必ず参加します。

六戸 伸子●東北の震災には本当に心を痛めています。「広島」のメンバーで「広島」で何か開催するというのも可能ではないでしょうか。笠岡に負けず広島も声を上げましょう!!

津田 文恵●今回の「チェリッシモ」隅から隅まで全部読みました。感動しました。

戸倉 紀子●12月陸前高田へ。街がない、色がない、土の中から生活の証が。ボランティアが受け継ぐ分別作業地元吉田さん賛同のお

花畑プロジェクト。私にもお花なら育てられる色を届けたい。思いを受け継いでいきたい。今は「なでしこ」を育てています。3月に届けます。

荻野貴美子●アマチュアの身で、ボ神戸のプロ室内合奏団の事務局スタッフとして2年少しやっております。皆さん公演にも足をお運びください。「室内合奏団 THE STRINGS」です。

雑賀 英之●折鶴の件ではお手数かけました。ヴァインズハイマーさんの経過が良好で嬉しいと思います。2012年、大阪チェロアンサンブル「ミル」の第2回定演は11月3日にクレオ大阪中央(四天王寺夕陽丘)で開催いたします。

都 もと子●住宅の被害はなく、無事にチェロを弾いています。

重徳 道子●3月17日、豊田で近県からチェリスト60名ほど集まり「チェロの森」コンサートを開催します。

黒田 邦美●チェロとギターを持ってデイサービスセンターを訪問し、お年寄りとの昔の歌を歌い、そしてチェロの暖かい音色を楽しんでもらっております。

勝島 和子●大阪チェロアンサンブル・ミルで活動しています。議題④の実現を期待しています。今回は残念ながら参加できなかったで…。

押田 榮一●チェロの自作(Höfner Bausatz)を始めてほぼ2年、まだ気に入らないところがあって、今だ工事中。永久に「完成」はないのかも…。

山口 京子●東日本大震災復興支援小規模コンサートのレポートを会報で拝見し、思いを新たにいたしました。中々上達しませんが、チェロ

の音色に祈りが込められるよう日々歩みたいと思います。

森口 美幸●先の1000チェロがご縁で、同9パートのパートリーダーをしていただき、佐久間先生が主催される『チェリッシモ・ブラビッシモ』のチェロコンサートに(2011年11月27日)、ご一緒させていただきました!! 改めてチェロの素晴らしさに感無量の日々でした!

森 和子●ドイツへの演奏旅行がまた実現すると良いと願っています。

清水 充子●昨年は大震災・大津波で亡くなったチェロ友をしのいで仲間が集まり皆でチェロを弾きました。福島原発事故による放射能汚染の不安にもチェロを弾く事で心折れることもなく過ごせました。今年も音楽でできることに感謝しつつ、皆と一緒に元気になるようチェロを弾きたいと思います。

品川 克志●Cellissimo17号の記事、大変感動して読ませていただきました。12年前、弓のケースにサインをいただいたこともあるWeinsheimer氏の御快癒も大変うれしく思っております。きびしい医療事情で忙しくなかなか参加できませんが、1000チェロのレパートリーは一冊にまとめ日ごろ演奏しております。

山田 善重●佐賀の地でゴースト達はチェロ弾きに頑張っています。今年の定演はドボコンをやります、楽しみです、第5回1000人のチェロを楽しみに待っています。

坪井 容子●復興支援コンサートについての記事を読み、訪問された方々の感想に心温まる想いでした。日程が都合つけば、次回は参加させていきたいと思います。

続々・第12回定時総会報告 2011年度決算 + 2012年度予算

続いて、会計報告です。定時総会にて、すべて承認されたことを報告します。本文とあわせてご覧ください。

平成23年度特定非営利活動に係る事業 (2011年度)

2011年貸借対照表 平成23年12月31日現在

科目	金額(単位円)	科目	金額(単位円)
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	0	仮受金	16,089,471
NPO 普通預金	0	預り金(年会費先払い分)	6,000
NPO 郵便貯金	0		
棚卸品	902,500		
NPO 普通預金 ICC	88		
流動資産合計	902,588	流動負債合計	16,095,471
2. 固定資産		III 正味財産の部	
什器備品		前期繰越正味財産	(15,121,478)
固定資産合計	0	当期利益金	(71,405)
		正味財産合計	(15,192,883)
資産合計	902,588	負債・正味財産合計	902,588

2011年収支計算書

平成23年1月1日から平成23年12月31日まで

収入	合計	本会計	書籍
入会金	18,000	18,000	
年会費	619,000	619,000	
DVD 収入	50,820	50,820	
寄付金収入	63,500	63,500	
東北登録収入	130,000	130,000	
受取利息	76	76	
合計	881,396	881,396	0

支出	合計	本会計	書籍
旅費交通費	245,521	245,521	
会報費	140,000	140,000	
会議費	72,272	72,272	
郵送費	135,399	135,399	
支払手数料	113,274	113,274	
東北関連費	246,335	246,335	
合計	952,801	952,801	0
差引収支	(71,405)	(71,405)	0